

北海道町村議会議員研修会

札幌コンベンションセンター

平成26年7月4日

平成26年7月4日札幌コンベンションセンターにおいて全道町村議会議員研修会が開催され全議員が出席。2氏の講演を聞きました。



法政大学法学部教授
廣瀬克哉氏

はじめに法政大学法学部教授の廣瀬克哉氏が「議会改革のこれから」と題し講演をいただきました。

廣瀬氏は「市町村基本構想がなぜ削除されたのか」と問題提起をし、もっとオリジナルでやっつけていい「自治体が自由にできるようなったと前進面でもとらえていい」と話され、比布町の「第11次まちづくり計画」の決定

段階での議論を想起し、追加政策があってもいいと解釈しました。具体的な課題として求められている議員力について、留意すべきは「政局」ではなく「全会派一致としての議会の機関決定」を戦略として立て、少数会派も戦略決定から排除しないと配慮まで話されました。



読売新聞特別編集委員
橋本五郎氏

次に橋本五郎氏で「これからの日本の政治」と題し、今も読売テレビ制作の報道番組にゲスト出演し、21世紀臨調運営委員や東日本大震災復興構想会議委員などを務めておられます。

橋本氏は「これからの日本の政治」と題し、今の政治状況を話された後に「日本の政治の最大の問題は、地方の過疎化に何の手立ても打てないこと」と強調し、「がんを患い、今実践していることは廃校になった秋田県の母校の小学校体育館に開設した『橋本五郎文庫』です。」

会だ、知恵も金もある、それを生かすことだ。最も身近な人を大事にすることがこれからの日本の政治だ」と結びました。

(遠藤春子)



第2回臨時会

5月 2日

専決処分

◆専決した事件の承認(2件)

①昨年12月、排雪作業中町道6号道路で発生した損害賠償事故について、その損害賠償額と事故の経過について報告されました。

②平成25年度比布町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)は、後期高齢者広域連合納付金の増に伴い平成26年3月17日付で専決処分され、100万円を追加し、総額6039万6千円とするもので原案のとおり可決されました。

条例

◆比布町名誉町民に関する条例の一部を改正する条例

名誉町民推薦審議会の委員を1名増員し、名誉町民の待遇等の規定を見直し、原案のとおり可決されました。

皆さんも傍聴しませんか

次回の定例会は9月に開会の予定です。詳しい日程は、無線放送等でお知らせしていますので、ご注意ください。皆様の傍聴をお待ちしています。



委員会の活動

activities

産業建設常任委員会

6月2日開催

【産業振興課関係】
《商工・観光部門》

(現地視察)

・ほくれいロッジ、スキー場事務所等の施設を視察

(報告事項)

・平成25年度観光事業特別会計収支決算及び利用実績

リフト使用料

7144万6719円

昨年 6948万3820円

修繕費

1608万8314円

リフト、圧雪車等、今後は従業員も多少の整備に携わる事

も必要

・ナイター利用状況

295万円 利用者減少

・平成25年度グリーンパークピ

つぶ収支決算

利用料 759万2870円

運営費 1326万3528円
差引 △567万658円

(協議事項)

・財産の取得 グレンデ圧雪車

取得価格 3380万4千円

・スキー場再整備について

エリアの施設、設備について

今後、建設予定のセンターハ

ウスを中心とするスキー場内

と公営企業としての運営を含

めて議論が必要

・「遊湯ぴつぶ」指定管理者更新

について

